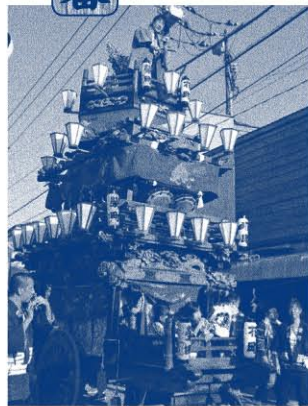


11/4日 よりい 寄居秋まつり

寄居 宗像神社例大祭

宗像神社は、大宝元年(七〇二)に荒川の氾濫をすくめ、舟や筏の交通を護るために宗像大社(福岡県)の御分霊を祀ったものと伝わっています。この例大祭は、毎年、十月第一日曜とその前日に行われ、氏子各町より山車、笠鉦がお囃子にのり華やかに曳き回されます。山車祭としての歴史は古く、江戸、文政年間には、神幸行列で現在行われているような、神輿の後に山車、笠鉦を曳く形がとられていたという記録があります。各部に施されたすぐれた彫刻や、「二本柱型」といわれる古い構造が残る点など、寄居の歴史と文化を今に伝えています。

年番 栄町



一本柱型の山車で、最上部の露盤は六角形で造られている。かつて山車最上部に飾られていた「関羽」の人形は、よりい会館の展示ホールでその堂々たる容姿を見ることができる。



「寄居町観光協会ホームページ」
<http://www.yorii-kanko.jp/akimaturi.html>



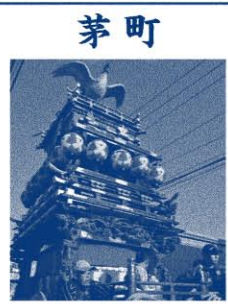
一本柱型の山車で、最上部の露盤は六角形で造られている。猿の人形「野猿」が山車最上部に飾られている。



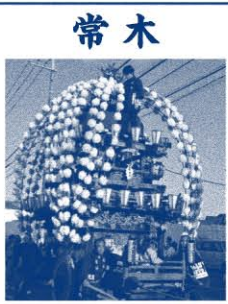
一本柱を持つ他の山車を発展させた形といわれ、人形がせり上げできる構造を持っている。真っ赤な面をもつ「狸」の人形が山車最上部に飾られている。※本年度は修復のため通行しません。



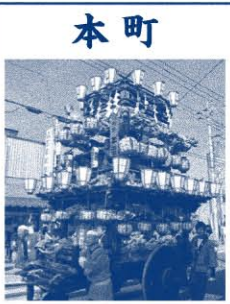
一本柱型で、他の山車とほぼ同じ構造をしているが、最上部は高寛のつく露盤ではなく笠が載る笠鉦。笠からは、放射状に花がさがり、その上には万度が載る。



一本柱型の山車で、最上部の四角形の露盤の上は通常、万度を飾る。人形は「諏訪」が載り、平成29年に文化庁の文化遺産総合活用推進事業の補助金を受けて約140年ぶりの大修復が行われた。

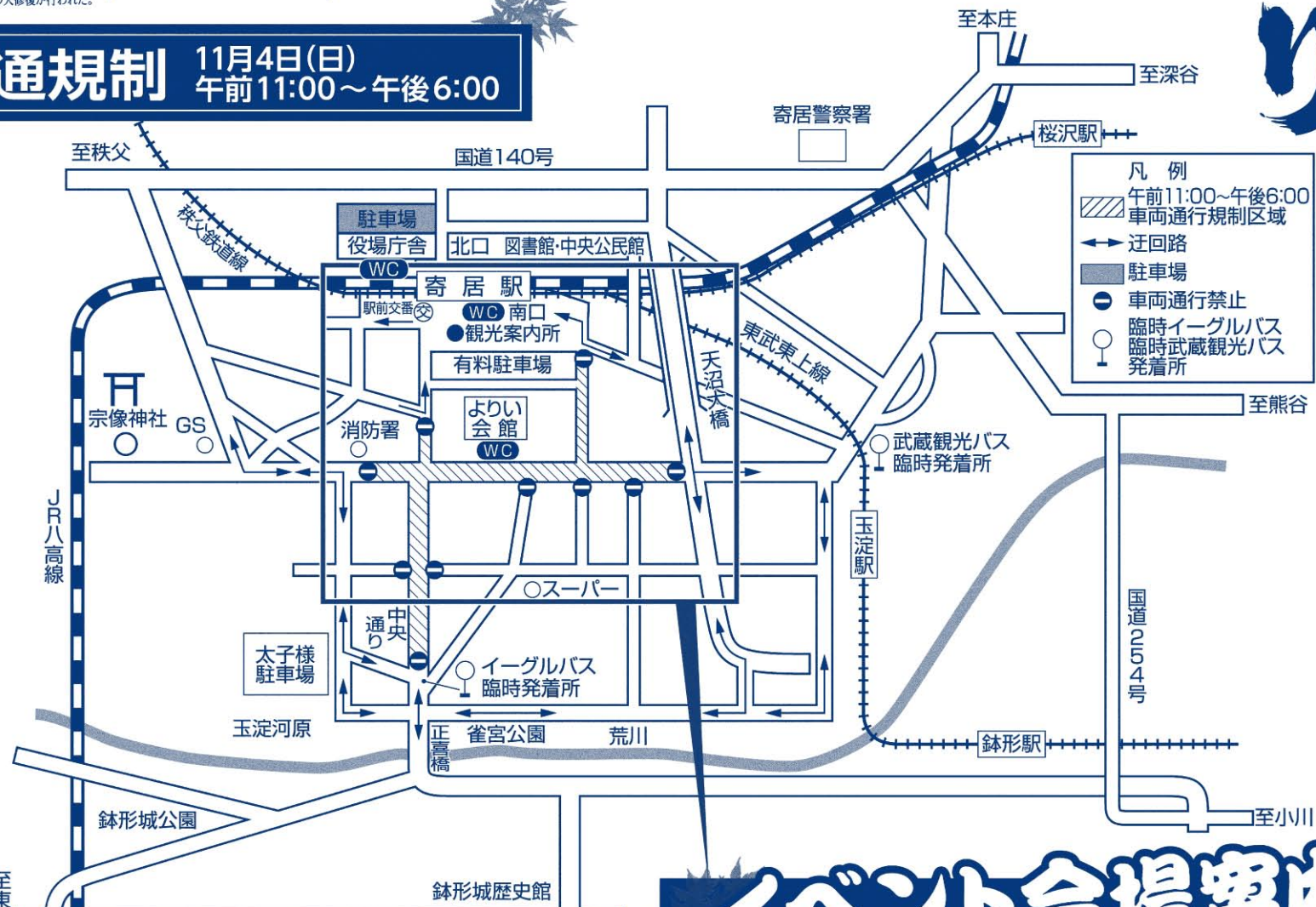


宮本と同様に一本柱構造で、最上部に笠が載る笠鉦。現在は一層の笠の上に、櫓を飾り曳き回されるが、かつては三層の笠が載る笠鉦だったと伝わる。

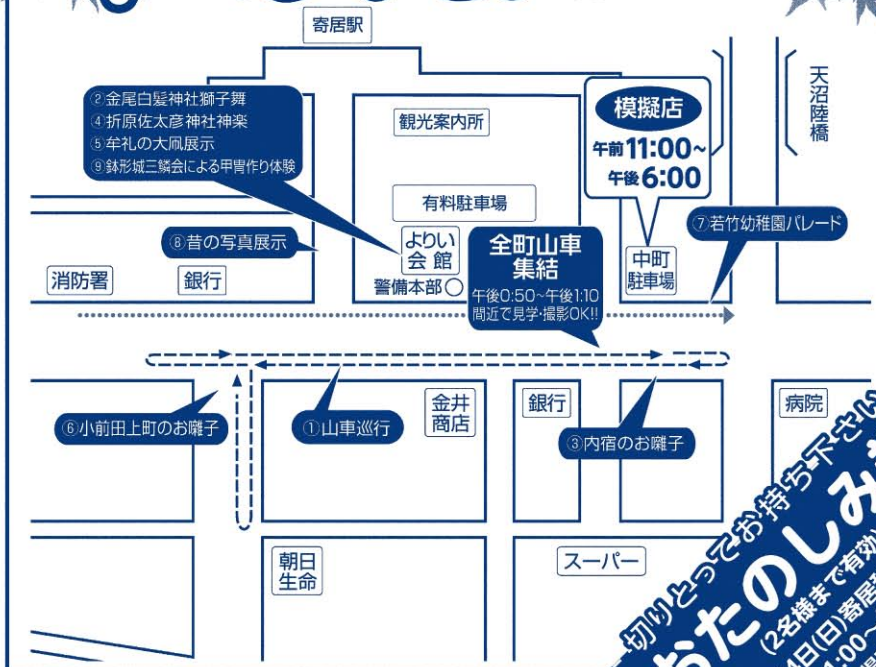


一本柱を持つ他の山車を発展させた形といわれ、人形がせり上げできる構造を持っている。かつては「神武天皇」の人形が載っていたと伝わる。

交通規制 11月4日(日)
午前11:00～午後6:00



イベント会場案内



寄居秋まつりの見処

見処!! ① 山車巡行 時間 午前11:00～午後2:30	見処!! ② 金尾白髪神社獅子舞 時間 午後0:10～午後1:20
見処!! ③ 内宿のお囃子 時間 午後0:15～午後2:30	見処!! ④ 折原佐太郎神社神楽 時間 午後1:20～午後2:30
見処!! ⑤ 竿舁の大風展示 常設	見処!! ⑥ 小前田と町のお囃子 時間 午後0:15～午後2:30
見処!! ⑦ 若竹幼稚園パレード 時間 午前11:40～午後0:30	見処!! ⑧ 昔の写真展示 常設
見処!! ⑨ 鉢形城三郎会による甲冑作り体験 時間 午前10:00～午後4:00	

切符とらでお持ち下さい
おたのしみ券
(2名様まで有効)
11月4日(日)寄居秋まつり
午前11:00～午後2:30
模擬店会場受付で素数な
プレゼントと
引き換え。